



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 桑井 哲也

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	163,918	3.7	32,706	0.5	28,174	△12.6	18,364	△11.6
22年3月期第2四半期	158,063	0.7	32,550	3.5	32,239	△1.8	20,771	△9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	96.71	—
22年3月期第2四半期	109.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	409,083	320,523	78.3	1,686.69
22年3月期	425,507	317,139	74.5	1,668.93

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 320,290百万円 22年3月期 316,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
23年3月期	—	16.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	326,000	3.2	63,300	0.0	57,200	△10.1	36,300	△10.9	191.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

(年間想定レート: 1ドル=85円・1ユーロ=113円)

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 210,876,260株 22年3月期 210,876,260株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 20,983,051株 22年3月期 20,981,193株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 189,894,119株 22年3月期2Q 189,897,937株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料]4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）における世界経済は、中国をはじめとするアジア地域の牽引により緩やかに景気回復傾向が見えているものの、先進国における金融緩和の長期化により為替相場の急激な変動などを招き、先行き不透明な状態が続きました。

このような経済環境のもと、世界の医療は大きな変革期を迎えています。例えば、中国では2011年をめぐりに国民の9割以上を基本的な医療保険に加入させることを目指すなど、特に新興諸国では経済発展に伴い医療インフラの整備が進んでおり、医療関連分野で需要拡大が見込まれています。一方、欧米など先進国では医療費の増加が大きな課題となっており、医療財源の確保や医療費抑制のための様々な医療制度改革が行われています。

このように大きく変化する環境の中、当社グループは市場の変化に着目しつつ、医療の質を高め、効率化を推進する「医療経済性」に貢献できる独自の商品とサービスで事業展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

国内は薬価・公定価改定の影響を受けながらも、前年同期比1.9%増の895億円となりました。また、海外は円高による為替の影響を受けたものの、総じて好調に推移し現地通貨ベースで16.1%伸長し、欧州、米州、アジア他、それぞれの地域で二桁を超える伸長を示しました。その結果、国内・海外を合わせた売上高は3.7%増の1,639億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
日本	87,774	89,471	1.9%	1.9%
欧州	27,880	27,331	△2.0%	14.0%
米州	26,608	28,706	7.9%	16.0%
アジア他	15,800	18,409	16.5%	19.9%
海外計	70,289	74,447	5.9%	16.1%
合計	158,063	163,918	3.7%	8.2%

<売上総利益>

高収益品へのシフト、販売物量の増加、コストダウンなどのプラス要因を、薬価・公定価改定、円高による為替の影響などマイナス要因が上回り、売上総利益率は前年同期比0.5ポイント下がり52.2%となりました。売上総利益額は、販売物量の増加などにより23億円増加し、856億円となりました。

<営業利益>

一般管理費は全般に効率運用を続けましたが、開発費などの成長投資は積極的に行った結果、販管費は前年同期比22億円増加し、営業利益は微増の327億円となりました。

<経常利益>

経常利益は円高による為替差損の影響を大きく受け、前年同期比12.6%減の282億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は前年同期比11.6%減の184億円となりました。

次に、事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
ホスピタル事業	売上高	75,062	77,423	3.1%	4.8%
	(国内)	60,154	62,459	3.8%	3.8%
	(海外)	14,908	14,963	0.4%	8.7%
心臓血管領域事業	売上高	67,541	71,860	6.4%	14.2%
	(国内)	19,657	19,938	1.4%	1.4%
	(海外)	47,883	51,922	8.4%	19.4%
輸血関連事業	売上高	11,791	12,536	6.3%	11.7%
	(国内)	4,640	5,321	14.7%	14.7%
	(海外)	7,150	7,215	0.9%	9.8%
ヘルスケア事業	売上高	3,668	2,098	△42.8%	△42.6%
	(国内)	3,321	1,752	△47.2%	△47.2%
	(海外)	347	346	△0.3%	2.2%

(注) 本表の前年同期の金額は当期比較のため組替を実施しております。

<ホスピタル事業>

国内では、医療事故の防止、感染リスクの低減につながる付加価値を高めた輸液器具類や輸液ポンプ、シリンジポンプなどが好調に推移しました。また今期から慢性期市場の開拓を進めておりますが、徐々に効果が出始め、主力商品である半固形栄養食品なども好調に売上を伸ばしました。

海外では、中南米の一部地域でホスピタル商品の直販を開始し、売上を伸ばしました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比3.1%増の774億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、狭心症の治療などに使われる血管内超音波診断カテーテル「ViewIT」(ビューイット)やPTCA用バルーンカテーテル「Tazuna」(タヅナ)が引き続き好調に推移したほか、オリンパス社と共同開発した新商品「VisiGlide」(ビジグライド)も2010年4月に発売開始以降順調に売上を伸ばしました。

海外では、カテーテル商品を中心に売上を伸ばしました。欧州、中南米、アジア地域で薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」(ノボリ)、米州では脳動脈瘤治療用コイルや、T R I (Trans-Radial coronary Intervention) で使われるカテーテル関連商品の売上が好調に推移し、引き続き、欧州、米州、アジア他の全地域で二桁を越える高い売上伸長を示しました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は、前年同期比6.4%増の719億円となりました。

<輸血関連事業>

国内、海外で血液バッグの売上が伸びたほか、欧州では血液センターの業務効率化に貢献する血液自動製剤システム「TACSI」(タクシー)も順調に販売地域を拡大しました。

その結果、輸血関連事業の売上高は、前年同期比6.3%増の125億円となりました。

<ヘルスケア事業>

国内では、昨年、新型インフルエンザ流行による電子体温計需要増などがありましたが、今年はその反動の影響を受け、ヘルスケア事業の売上高は、前年同期比42.8%減の21億円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ164億円減少して4,091億円となりました。流動資産は64億円減少して2,241億円となりました。受取手形および売掛金が29億円増加した一方、現金及び預金が80億円、たな卸資産が11億円減少となりました。

固定資産は101億円減少して1,850億円となりました。有形固定資産は3億円減少、無形固定資産は23億円の減少となりました。また、投資その他の資産は時価評価等により投資有価証券が102億円減少、これにより繰延税金資産が25億円増加、全体では74億円の減少となりました。

負債の部は198億円減少して886億円となりました。

流動負債は172億円減少して825億円となりました。短期借入金の返済により100億円減少、法人税等の支払いにより未払法人税等が46億円減少となりました。

固定負債は26億円減少して60億円となりました。退職給付信託への拠出等により、退職給付引当金が37億円減少しております。

純資産の部は、34億円増加して3,205億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.8ポイント増加し、78.3%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、昨今の外国為替相場の状況を考慮し、下期の想定レートを1ドル=80円、1ユーロ=113円に見直した上で、以下の通り修正します。この修正により業績見通しの前提となる通期の平均為替レートは、1ドル=85円、1ユーロ=113円を想定しております。

（通期）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	333,000	65,200	65,000	41,500	218.54
今回修正予想(B)	326,000	63,300	57,200	36,300	191.16
増減額(B-A)	△7,000	△1,900	△7,800	△5,200	△27.38
増減率(%)	△2.1%	△2.9%	△12.0%	△12.5%	△12.5%
前期実績	316,009	63,282	63,611	40,721	214.44

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は768百万円であります。

②「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,074	90,102
受取手形及び売掛金	74,716	71,798
商品及び製品	32,488	34,180
仕掛品	6,118	6,143
原材料及び貯蔵品	15,367	14,741
繰延税金資産	9,077	9,086
その他	4,952	5,071
貸倒引当金	△728	△693
流動資産合計	224,066	230,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,885	45,533
機械装置及び運搬具（純額）	30,788	29,345
土地	20,195	20,285
リース資産（純額）	811	665
建設仮勘定	9,910	11,941
その他（純額）	6,129	6,259
有形固定資産合計	113,721	114,030
無形固定資産		
のれん	21,043	22,989
その他	6,762	7,140
無形固定資産合計	27,805	30,129
投資その他の資産		
投資有価証券	28,653	38,868
繰延税金資産	9,070	6,614
その他	5,768	5,433
投資その他の資産合計	43,491	50,915
固定資産合計	185,017	195,076
資産合計	409,083	425,507

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,770	27,367
短期借入金	10,000	20,000
リース債務	253	219
未払法人税等	8,390	12,994
繰延税金負債	2	7
賞与引当金	5,014	4,898
役員賞与引当金	80	161
設備関係支払手形及び未払金	5,547	8,031
その他	24,474	26,049
流動負債合計	82,533	99,731
固定負債		
リース債務	559	463
繰延税金負債	512	40
退職給付引当金	984	4,677
役員退職慰労引当金	586	658
資産除去債務	768	—
その他	2,615	2,795
固定負債合計	6,026	8,636
負債合計	88,560	108,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	332,029	316,703
自己株式	△76,825	△76,817
株主資本合計	352,950	337,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,073	2,335
為替換算調整勘定	△30,586	△23,046
評価・換算差額等合計	△32,660	△20,711
少数株主持分	232	218
純資産合計	320,523	317,139
負債純資産合計	409,083	425,507

（2）四半期連結損益計算書
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）
売上高	158,063	163,918
売上原価	74,795	78,319
売上総利益	83,268	85,599
販売費及び一般管理費	50,717	52,893
営業利益	32,550	32,706
営業外収益		
受取利息	249	130
受取配当金	114	229
受取ロイヤリティー	73	66
持分法による投資利益	41	66
その他	437	278
営業外収益合計	915	771
営業外費用		
支払利息	85	47
売上割引	287	279
為替差損	755	4,570
たな卸資産処分損	41	154
その他	57	252
営業外費用合計	1,227	5,304
経常利益	32,239	28,174
特別利益		
固定資産売却益	0	6
貸倒引当金戻入額	42	—
退職給付信託設定益	—	494
特別利益合計	42	500
特別損失		
固定資産処分損	52	259
投資有価証券評価損	—	19
役員退職慰労金	—	15
特別損失合計	52	295
税金等調整前四半期純利益	32,229	28,379
法人税、住民税及び事業税	11,191	9,412
法人税等調整額	242	561
法人税等合計	11,433	9,973
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,406
少数株主利益	24	42
四半期純利益	20,771	18,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,229	28,379
減価償却費	8,605	8,709
のれん償却額	854	803
持分法による投資損益 (△は益)	△41	△66
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	622	△3,146
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	△72
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	54
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77	△80
受取利息及び受取配当金	△363	△359
支払利息	85	47
為替差損益 (△は益)	705	2,931
固定資産処分損益 (△は益)	52	259
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	19
退職給付信託設定損益 (△は益)	—	△494
退職給付信託設定額	—	3,200
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,554	△5,129
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△281	△1,259
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,749	1,605
その他	3,029	△364
小計	38,089	35,031
利息及び配当金の受取額	523	517
利息の支払額	△89	△52
法人税等の支払額	△6,589	△14,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,934	21,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,896	△1,715
定期預金の払戻による収入	6,383	3,788
有形固定資産の取得による支出	△9,023	△11,733
有形固定資産の売却による収入	2	12
無形固定資産の取得による支出	△444	△517
投資有価証券の取得による支出	△107	△10
投資有価証券の償還による収入	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,986	△10,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,190	△10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△98	△119
自己株式の取得による支出	△4	△8
配当金の支払額	△3,038	△3,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,331	△13,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	△555	△3,490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,061	△5,596
現金及び現金同等物の期首残高	55,067	84,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,128	79,281

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした商品群別のセグメントから構成された「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「輸血関連事業」及び「ヘルスケア事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	売上区分	主要製品
ホスピタル事業	ホスピタル医療器類	シリンジ（注射筒）、注射針、真空採血管、輸液セット、静脈留置針、輸液ポンプ、シリンジポンプ、在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、栄養食品、プレフィルドシリンジ、腹膜透析システム 他
	糖尿病事業	血糖測定システム 他
心臓血管領域事業	カテーテルシステム	血管造影用カテーテル、P T C A用バルーンカテーテル、コロナリーステンント、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム他	人工肺、体外循環システム、左心補助人工心臓 他
	人工血管	人工血管、ステントグラフト
輸血関連事業	輸血関連事業	血液バッグ、血液自動製剤システム 他
ヘルスケア事業	ヘルスケア事業	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、血糖測定システム（O T C市場）他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	輸血関連 事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	77,302	71,782	12,472	2,089	163,647	271	163,918
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
合計	77,302	71,782	12,472	2,089	163,647	271	163,918
セグメント利益	13,968	18,507	1,471	△850	33,097	△391	32,706

(注) 1. セグメント利益の調整額△391百万円には、たな卸資産の調整額△508百万円、その他117百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	輸血関連 事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	75,144	67,464	11,819	3,681	158,109	△45	158,063
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
合計	75,144	67,464	11,819	3,681	158,109	△45	158,063
セグメント利益	14,112	17,342	1,224	463	33,143	△593	32,550

(注) 1. 本表は当連結累計期間の報告セグメント情報と比較するため提供するものであります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,475	26,492	30,631	17,319	163,918	—	163,918
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	27,599	2,116	2,992	8,034	40,743	△40,743	—
計	117,075	28,609	33,623	25,354	204,662	△40,743	163,918
営業利益	29,490	3,641	2,743	4,230	40,105	△7,399	32,706

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州:ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州:アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他:中国、タイ、UAE等

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	87,784	27,216	28,137	14,924	158,063	—	158,063
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,516	2,236	2,835	7,674	36,263	△36,263	—
計	111,300	29,453	30,973	22,599	194,327	△36,263	158,063
営業利益	29,889	4,064	1,684	4,374	40,012	△7,461	32,550

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州:ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州:アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他:中国、UAE、タイ等